

林蘆花^{（はし）} 國學者。弘化二年二月二日生れ、大正十一年一月八日歿（二八五一九三）。初名國臣。號杉生居、眞字のきの舍。平田鏡胤の國學を學び、うち其學に及ぶ。明治二十一年言文一致連邦社學會を、二十六年新式歌文協會を興し、『新式歌文雜誌』創刊。二十二年言文一致會創設の盡力、翌年雜誌『新文』創刊。二十九年皇道國學會設立。洋畫家林武の父。

著書 『中等小學修身白人一巻』卷一（明治十四年二月二十一日版權免許）
・六月一日序、群馬・産靈舎藏版）、『俗解くゝきは初學』全二冊（上・明治十八年九月八日、下巻・十九年五月體言は眞字會の全、九春堂發賣）、『日本文典・上編』（明治二十六年四月八日新式歌文協會事務所）、『帝國教典・卷篇』（明治二十二年一月十二日平民（祖書院）等）。